

旅行業における死亡災害事例（1999-2020年）

年	月	発 生 時	死亡災害事例	起因物 (小)	事 故 の 型	労 働 者 規 模
1999	1	11 ～ 12	得意先訪問のため自動車で走行中、路肩に止まってチェーンを付けていた乗 用車に気づき手前でブレーキをかけたところスリップし、止まっていた乗用 車に衝突した。	231	17	30 ～ 49
1999	8	14 ～ 15	ツアー客を乗せた観光バスが国道を走行中、対向の自動車運搬専用トラック がカーブを曲り切れずに中央線をはみ出して観光バスと正面衝突し、観光バ スの添乗員が死亡し、運転手とガイド及びトラック運転手が負傷した。	221	17	10 ～ 29
1999	9	18 ～ 19	バスの添乗員が乗客をバスから降ろして、会場まで先導したのち、近くの交 差点を横断していたところ、右折してきた軽四自動車にはね飛ばされた。	231	17	1 ～ 9
1999	8	10 ～ 11	普通乗用車で有料バイパスを走行中、運転を誤って中央分離帯に乗り上げ、 さらにトンネル入り口の壁に激突した。	231	17	50 ～ 99
2002	11	15 ～ 16	乗用車で国道を走行中、交差点で右折のため停車中の大型トラックに追突し た。	231	17	10 ～ 29
2006	5	14 ～ 15	旅行の日程等打ち合わせ終了後、不調を訴え自宅へ薬を飲みに帰ったところ 倒れた。	921	90	1 ～ 9
		16	被災者が市道（優先道路）を営業車で走行中、対向車線を走行していた4ト			50

2006	10	～	ントラックが脇道から進入してきた2トントラックに激突されたはずみで車	221	17	～
		17	線を横断し、被災者の車に激突した。			99
2009	7	1	社内にて新たな企画を上司に説明している際、意識を失い、救急車にて病院	921	90	10
		～	へ搬送されたが意識が回復せず翌日に死亡した。			29
		2				
2012	1	8	被災者が運転する観光バスは、日帰りバスツアーで目的地へ向かって、高速	221	17	1
		～	道路のトンネル内の追い越し車線を走行中、突如、走行車線から追い越し車			～
		9	線へ車線変更してきたトラックに激突され、バスに乗車していた添乗員が死			9
			亡、運転手が足を打撲する怪我を負った。			
2013	11	12	添乗員（被災者）は、ツアー客の昼食のために立ち寄ったレストランにおい	413	1	50
		～	て、ツアー客を席へ案内していて、階段の2階から1階へ転落した。その			～
		13	際、1階にある柱に頭部を強打し、病院に搬送されたが死亡した。			99
2016	5	9	被災者が、自身の勤務するビル7階の事業場の窓から、直下の歩道へと墜落	418	1	1
		～	し死亡した。墜落高さ22.9m。災害発生状況を確認した者はおらず、通			～
		10	行人が、倒れている被災者を発見した。			9
2019	11	10	営業職として業務に従事していた被災者が出勤前に自宅で倒れ、搬送先の病	911	90	1
		～	院において急性心筋梗塞により死亡したもの。			～
		12				9
2019	7	10	被災者は乗用車に乗り、小学校から道路に入り、直線道路を運転していたと	231	17	1
		～	ころ、対向車線を走っていたミキサー車に正面衝突した。ドライブレコー			～
		12	ダーを確認したところ、被災者の運転していた乗用車が、センターラインを			9
			越えていた。			

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_03.htmlに戻る。